

NMSH Topics 20 VOL.

August 2018

今月の

院長のイチオシ

放射線科

各種モダリティを駆使した
精度の高い画像診断から
多様な治療、検診まで提供

放射線診断や血管内治療の エキスパート・専門設備がそろう

付属病院では新鋭の診断機器を用いて、CT、MRI、SPECT、マンモグラフィと多岐にわたるモダリティの画像を提供しており、検査数も外来・入院患者さんに対応しているため膨大です。しかしながら当院の放射線科には40人以上の放射線診断医が在籍しており、23人の放射線診断専門医を擁しているため、いずれのモダリティにおいても検査当日に診断を完了できます。また、近隣の先生方から患者さんのCT検査を依頼された場合にも、当日外来でオンコールCT検査を行い、診断結果をその場でお渡しすることができます。付属病院に隣接した日本医科大学健診医療センターにはPET-CT装置3台が稼働しており、各種悪性腫瘍の病期、転移・再発診断の他、がん検診も行っておりますので、ご活用ください。

当科には診断部門以外にもIVR（血管内治療）部門があり、低侵襲的なカテーテル治療を行っています。当院はIVR専門医修練施設に認定されており、IVR専門医3人の指導のもと、血管撮影装置にCTを併設したIVR-CT装置2台を備えた「IVRセンター」および手術室に血管撮影装置を備えた「ハイブリッド手術室」において年間約1000件に及ぶ高度のIVR診療が行われています。疾患と

しては、胸腹部大動脈瘤・内腸骨動脈瘤・末梢動脈疾患などの血管内治療の他、肺がんのCTガイド下肺生検や子宮筋腫の動脈塞栓術など多様な診断・治療に対応しています。

迅速かつ精度の高い画像診断から非侵襲的血管内治療、そして検診に至るまで、近隣の皆さんに広く利用していただける施設をめざし努力してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いたします。



手術台と血管造影装置を配置した「ハイブリッド手術室」においては、胸腹部大動脈瘤などの症例に対し、手術とカテーテル血管内治療を同時に行っている

放射線科 外来診療担当

月	杉原 史恵	IVR
火	村上 隆介	画像診断
水	上田 達夫	IVR
木	保坂 純郎	静脈瘤治療
金	汲田 伸一郎	画像診断
土	担当医	